令和８年度　長浦小学校　学力向上プラン

【学校教育目標】

笑顔で“できる”長浦っ子の育成

～少人数（ここ）の学びを「一生モノの力」に。自ら創り出す、ふるさとの主人公～

【めざす児童像】

㋕　笑顔の力で　つながる　なかま

㋑　がんばれる　私が私を　つくるんだ

㋥　お互いの　持ち味生かして　高め合う

【目指す学びの姿】

低：授業中の約束を守り、意欲的に学習に取り組むことができる。

中：学習の進め方や仕方が分かり、意欲的に学習に取り組むことができる。

高：自分から見通しを持って学習計画を立て、主体的に学習に取り組むことができる。

校内研を柱とした　全児童がターゲットの学力向上

【持続可能な指導体制の確立】

１．子どもが主体的に進める授業を通した、目指す子どもの姿の実現に向けた取り組み
　・ガイド学習進行表等の作成
　・課題解決方法の提示
２．複式カリキュラムの見直し・修正
　・異学年協働・交流の視点からのカリキュラム見直し
３．長浦小ユニバーサル化
　・朝の会や帰りの会、号令の仕方（所作）などの統一
　・板書やネームプレートなどの環境整備
　・地域人材マップの作成
４．複式指導等、人権教育、ICT の活用に関する現職教育
５．フォロワー育成に向けた話し上手、聞き上手への全校的取組
６．自分の意見を根拠をもって話す習慣づけ

【学習規律】

１．「ガイド学習」による個別学習の推進
　・学習スタイルの統一
　・ガイド学習の学習過程の共有（授業の流れの見える化）
２．長浦小ユニバーサル化
３．授業の初めと終わりの厳守

【チャレンジタイムの活用】

１．週２回約１０分の時間の活用
　・火曜及び金曜…ICT スキル向上、国語科、算数科
　・学習スタイルの自己決定による取組
２．知識・技能の習熟及び活用による基礎基本の確かな定着
３．キュビナ、コグトレオンラインの積極的活用
４．MEXBT、ながさき GIGA ちゃん等を活用した学力調査過去問に取り組み、試験の形式・時間に慣れさせる

【学校図書館の３機能（「読書」「学習」「情報」センター）を生かした学習指導の充実・読書活動の推進】

１．全校児童目標冊数達成の推進
２．読書タイムの質的向上、多様な読書活動の取組
３．図書館資料を活用した授業作り
４．市立図書館と連携した巡回図書活動
５．図書館司書、地域ボランティア、図書委員会による読み語り活動
６．うちどく（家庭読書の日）の実施

【家庭学習】

１．低 30 分、中 45 分、高 60 分 家庭学習の習慣づけ
２．量より質を意識した漢字練習
３．課題＋α（自分で選択する学び）の実現

【ガイド学習の流れ（例）】

ガイド学習の進め方（算数/中学年用）

		ガイド役の進行表
つかむ	1	前の時間に学しゅうしたことは何ですか？（新しい学習に入る時はなし） 「前の時間には、○○ということ学習しました。」 「前の時間のまとめは、○○○○でした。」
	2	今日の問題を書きましょう。（もしくは、「今日の問題をはりましょう。」） （書き終わったら）今日の問題を読みましょう。さん、はい。
	3	この問題で分かっていることに青、きかれていることに赤で線を引きましょう。
	4	この問題で、分かっていることは何ですか？
	5	この問題で、きかれていることは何ですか？
	6	前の時間とにているところやちがうところはどこですか？ 「○○というところはにています。」 「前の時間は○○だったけど、今日の問題は△△になっています。」
	7	めあてを考えましょう。 （書き終わったら）今日のめあてを読みましょう。
いどむ	8	何を使うとかいけつできそうですか？ 「図」、「表」、「たし算」、「かけ算」 などなど
	9	何分でできそうですか？ → タイマーをセットする。
	10	（自分でかい決の紙を黒ばんにはって）自分の考えをノートに書いてみましょう。 <自分でかい決のながれ（れい）> 自分の考えをノートに書き終わったら... ① べつの方ほうがないか考える。 ② 分からないでいる子に教えに行く。 ・お一人様コース ・チームプレーコース ・VIP（ビップ）コース
	11	（グループでかい決の紙をはって）グループで考えを出し合い、ポイントをまとめましょう。 何分でできそうですか？ → タイマーをセットする。 ① それぞれの考えをせつ明し合う。（ホワイトボードなどをつかって） ② ポイントになる言葉や、やり方をホワイトボードに書く。 ③ 発表のじゅんびをする。
ひらき合う	12	では、発表をしてください。○○さんのグループおねがいします。 「ポイントは○○だと思います。どうしてかというと･･･だからです。」
	13	次に。○○さんのグループおねがいします。 「ポイントは○○だと思います。どうしてかというと･･･だからです。」
	14	（ぜんぶの発表がおわったら） ・まとめにどんな言葉が入ったらよさそうですか。 ・それぞれの考えで、同じところやにているところはありますか？

令和８年度全国学力・学習状況調査及び県・市学力調査より

＜本校の課題＞

・学力の２極化傾向及び学年による定着力の差が見られる。

・記述問題の無回答率が高い。

（国語）

・書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える力が不足している。

⇒【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く。

・話すこと・聞くことの特に必要な情報を聞き取る力が不足している。

（算数）

・中学年は特に「測定」と「図形」、高学年は特に「変化と関係」と「データの活用」の分野に苦手意識が見られる。

・「○○さんの考えを参考に…」という考えの説明を記述する問題に無回答が多い。

○本校の学力調査の平均正答率　（令和８年４月実施）

６年生	国　語	算　数
全　国	６０．９	５６．４
長崎県	６１	５５
本　校	○ （６２）	○○ （６４）

５年生	国　語	算　数
長崎県	４９．３	６３．８
長崎市	４９．５	６３．７
本　校	○○ (59．2)	○ (66．7)

４年生	国　語	算　数
長崎市	５８．０	６４．５
本　校	▼ (55．6)	○○○ (77．8)

３年生	国　語	算　数
長崎市	６４．６	６６．９
本　校	▼▼▼ (33．3)	▼ (66．7)